

標本を基にした宮古諸島の十脚甲殻類記録  
Records of decapod crustaceans in Miyako Island Group,  
southern Ryukyu Islands, Japan

藤田喜久  
Yoshihisa Fujita

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵 1-4 沖縄県立芸術大学  
Okinawa Prefectural University of Arts, 1-4 Shuri-tounokura, Naha, Okinawa 903-8602, Japan  
e-mail: galatheids@yahoo.co.jp; fujitayo@okigei.ac.jp

**Abstract.** A total of 115 species, belonging to 85 genera of 36 families, was recorded on the basis of the specimens collected during the faunal surveys of decapod crustaceans in Miyako Island Group, southern Ryukyu Islands, Japan. Of these 59 species are reported for the first time from the Miyako Island Group.

### はじめに

宮古諸島には、8つの有人島(宮古島、池間島、大神島、伊良部島、下地島、来間島、多良間島、水納島)が含まれているが、全ての島は主に琉球石灰岩から構成される低島である。これらの島々には、サンゴ礁、岩礁海岸、砂浜海岸、干潟・マングローブ域、海岸林などの様々な沿岸環境が存在するが、陸水環境としては大きな河川を欠いており、その代わりに地下水系が発達していることが大きな特徴である。こうした宮古諸島の自然環境下には多様な生物が生息しているが、十脚甲殻類相についての研究は非常に少なく、まとまった記録としては、諸喜田(1996)および諸喜田ら(2001)を挙げるに留まっていた。

琉球列島の十脚甲殻類については、近年、これまで注視されて来なかった環境(例えば、内湾砂泥底環境、細砂海底環境、海底洞窟環境など)から新種や日本初記録種の発見が相次ぎ、当該地域における十脚甲殻類の種多様性が過少に評価されている可能性が指摘されている(藤田, 印刷中 a)。また、分子遺伝学的研究の進展によって、隠蔽種の発見や分類学的位置の変更などの分類学的研究が活発化しており、従来普通種と認識されていた種であっても、再検討の必要性が指摘される状況にある。一方、過去の十脚甲殻類相研究では、標本に基づ

いた生息種の検討が十分なされていない事例が散見されるため、近年の分類学的研究成果を必ずしも反映できない(直接標本を参照することができない)状況にもある。

著者(ら)は、こうした現状を踏まえ、琉球列島の各地域において登録標本に基づいた生息種の情報を補完あるいは新規に収集する研究を進めている。宮古諸島においては、主に陸域や陸水環境において、島単位での生物相の解明に取り組んできた(例えば、藤田 2007, 2011, 2016, 2017a, 印刷中 b; 藤田・砂川, 2008; 大澤・藤田, 2016)。また、宮古島市史「自然編」編さん資料調査(2013年～2017年)、伊良部島・下地島生物多様性調査研究プロジェクト(2013年～2017年)、海底洞窟調査プロジェクト(2016年～現在)などの宮古諸島域における調査研究プロジェクトの過程においても、当該地域における十脚甲殻類相の把握に努めてきた。本報では、著者(ら)による調査・研究の過程で採集された十脚甲殻類の種について、これまでの報告に取り上げるのでできなかった種を中心に取りまとめ、宮古諸島域における十脚甲殻類の分布記録情報を更新する。

## 材料と方法

本報告に用いた標本は、1999年8月～2017年9月に実施された宮古島、来間島、伊良部島、下地島、多良間島、フデ岩における野外調査(図1)の過程で、徒手、タモ網、トラップ、SCUBA潜水などを用いて採集されたものである。採集された十脚甲殻類の一部は、冷凍して研究室へ持ち帰り、解凍後の体色をデジタルカメラで記録した後、70%エタノールにて固定・保存した。また、コエビ下目エビ類の多くは冷凍すると体色が白濁するため、活かしたまま研究室に持ち帰り、クローブ(香辛料)を水に溶かして作成した麻酔液を用いて麻酔した後、デジタルカメラで体色を記録した。

本報告における国指定天然記念物のオカヤドカリ類の採取については、文化財保護法第125条第1項の規定による現状変更許可(24受庁財第4号の325, 26受庁財第4号の655, および27受庁財第4号の975)を得た上で実施した。また、調査地の一つである「島尻マングローブ林」は、宮古島市の市指定天然記念物であるため、同所における十脚甲殻類採集は、現状変更許可(宮教生第48号及び宮教生第691号)を得た後に行った。さらに、宮古島市自然環境保全条例第25号の規定によって保全種に指定されている十脚甲殻類の採集についても随時許可を得て採集を行った。

今回の報告で取り扱った標本の種同定に関しては、多数の文献情報を根拠にしたが、誌面(頁数)の制限のため、個々の文献については取り上げないことにした。ただし、今回取り扱った224個体の標本全ては宮古島市総合博物館(MCM)あるいは琉球大学博物館(風樹館: RUMF)に所蔵したので、それらを直接参照されたい。各種標本の大きさは、オトヒメエビ下

目・コエビ下目・イセエビ下目・異尾下目の一部 (コシオリエビ科およびスナホリガニ科) の種では甲長 (pcl: 眼窩後縁から頭胸甲後縁までを計測)を, ヤドカリ類 (オカヤドカリ科, ヤドカリ科, ホンヤドカリ科) の種では楯長 (sl: 額角の先端から前甲後縁までを計測)を, 短尾下目の種では甲幅 (cw: 甲の最大幅を計測) をそれぞれ計測した. 十脚目の分類体系 (下目, 科, 亜科の配列) については, 基本的に De Grave *et al.* (2009) に従い, 同じ科や亜科内における属および種の配列は, 学名のアルファベット順とした.

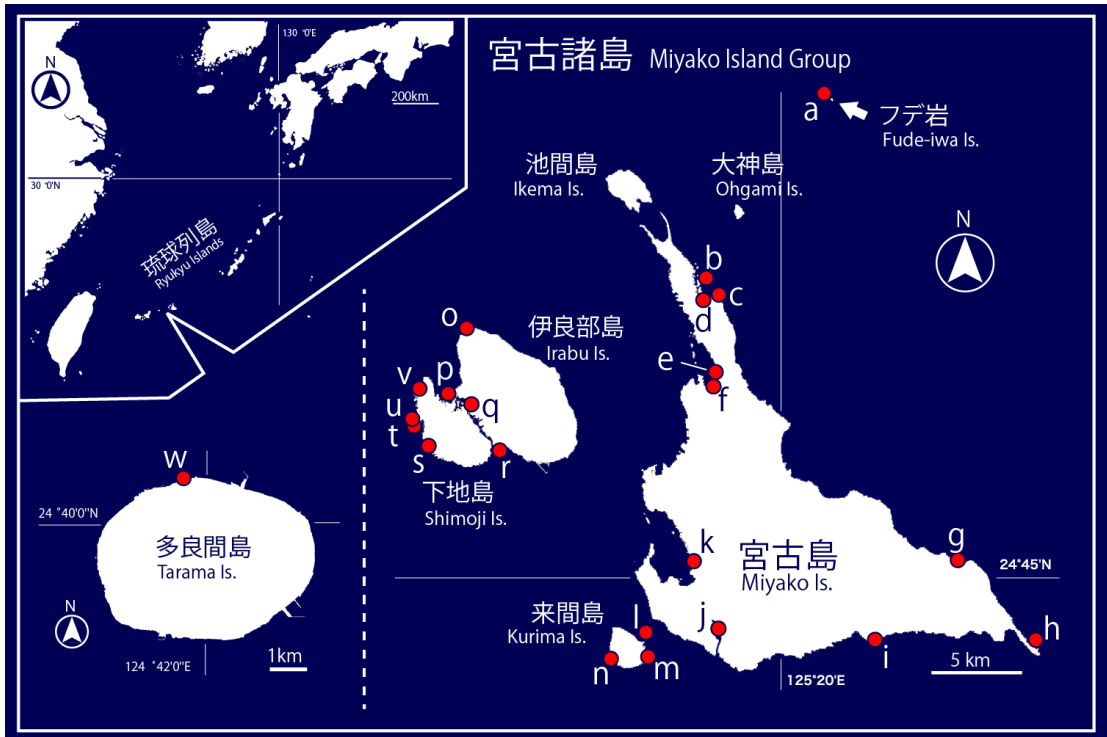


図 1. 十脚甲殻類の採集地点. a, フデ岩; b, 宮古島, 島尻, 小離島; c, 宮古島, 島尻漁港干潟; d, 宮古島, 島尻マングローブ域; e, 宮古島, 大浦干潟; f, 宮古島, ヒダ川; g, 宮古島, 新城海岸; h, 宮古島, 東平安名漁港砂浜; i, 宮古島, ムイガー海岸; j, 宮古島, 嘉手苺入江; k, 宮古島, 川満マングローブ域; l, 来間島, 来間漁港沖; m, 来間島, タコ公園; n, 来間島, ムヌスン浜; o, 伊良部島, 白鳥崎; p, 佐和田の浜 (伊良部島および下地島); q, 入江水道マングローブ域 (伊良部島側); r, 渡口の浜 (伊良部島および下地島); s, 下地島, 中の島; t, 下地島, 海底洞窟“悪魔の館”; u, 下地島, 通り池; v, 下地島, 下地空港西側海岸; w, 多良間島, トガリラトゥブリ.

Fig. 1. Study sites of Miyako Island Group, Ryukyu Islands. a, Fude-Iwa; b, Shimajiri, small islands, Miyako Is.; c, Shimajiri Fishing Port, Miyako Is. (tidal flat); d, Shimajiri mangrove area, Miyako Is.; e, Ohura, Miyako Is. (tidal flat); f, Hida-Ga, Miyako Is. (tidal flat); g, Aragusuku, Miyako Is. (sandy beach); h, Higashi-Henna Fishing Port, Miyako Is. (sandy beach); i, Mui-Ga, Miyako Is.; j, Kadekaru-Irie, Miyako Is. (tidal flat); k, Kawamitsu mangrove area, Miyako Is.; l, Kurima Fishing Port, Kurima Is.; m, Tako Park, Kurima Is. (coastal forest and rocky shore); n, Munusun-Hama, Kurima Is. (sandy beach); o, Shiratori-Zaki, Irabu Is.; p, Sawada-no-Hama, Irabu and Shimoji Is.; q, Irie-Suido mangrove area (Irabu Is. side); r, Toguchi-no-Hama, Irabu and Shimoji Is.; s, Naka-no-Shima, Shimoji Is.; t, “Akuma-no-Yakata” submarine cave, Shimoji Is.; u, Tohri-Ike Lake submarine cave, Shimoji Is.; v, West Coast of Shimoji Air Port, Shimoji Is.; w, Tugarira-Tuburi, Tarama Is. (sandy beach).

## 結果と考察

本研究で取り扱った229個体の十脚甲殻類は、オトヒメエビ下目1科2属2種、コエビ下目4科7属7種、イセエビ下目2科4属5種、異尾下目5科7属10種、短尾下目24科65属91種の計115種に同定された(表1)。これらの十脚甲殻類の過去の分布情報を調べた結果、表1に示した59種は、宮古諸島からの初記録となる。これらの十脚甲殻類のうち、特筆すべき分類群や種について、形態的・生態的特徴及び生時の体色などを以下に示す。

### 1. オトヒメエビ下目

オトヒメエビ下目の標本には、オトヒメエビ科に属する2種が含まれていた(表1)。これらのうち、クメジマオトヒメエビ *Stenopus pyrsonotus* Goy & Devaney, 1980(図2A)は、久米島から採集された標本を基に2003年に日本初記録種として報告された(奥野ら, 2003)。その後、ダイバーによって沖縄の各地で発見されており、ウェブサイトや図鑑にも生態写真が紹介されているが(例えば, 峯水, 2013), 採集標本によって分布根拠を示した記録は久米島以外からは確認できない。したがって、本報告は、標本を基にしたクメジマオトヒメエビの宮古諸島(下地島)からの初記録となる[登録番号: RUMF-ZC-2143(♂, pcl 15.2 mm)]。一方、アカオビスベスベオトヒメエビ *Odontozona fasciata* Okuno, 2003は、八丈島, 久米島, 下地島の海底洞窟から得られた個体を基にして、2003年に新種記載された種で、下地島の標本が本種のホロタイプとなっている(Okuno, 2003)。

### 2. コエビ下目

コエビ下目の標本には、テナガエビ科3種、リュウグウモエビ科2種、モエビ科1種、エビジャコ科1種の計7種が含まれていた(表1)。これらのうち、ハチジョウクラヤミカクレエビ *Palaemonella hachijo* Okuno, 1999[登録番号: N11-17-227(♂, pcl 4.7 mm)](図2C)とカワリエビジャコ属の一種 *Vercoia interrupta* Kim & Fujita, 2004[登録番号: N11-17-198(♀, pcl 4.6 mm)]については、本報告が宮古諸島からの初記録となる。カワリエビジャコ属の一種は、Kim & Fujita (2004)により、沖縄島から得られた標本1個体を基に新種記載された種で、その後、Anker (2010)によってフィリピンから追加の1個体が記録された。現在までに知られている標本は先に挙げた2個体のみの稀種であり、今回の標本は本種の3例目の記録となる。

リュウグウモエビ科のリュウグウモエビ *Parhippolyte misticia* (Clark, 1989)(図2D)は、伊江島, 伊良部島, 下地島から採集された標本を基に1994年に、同科のイラウモエビ *Calliasmata pholidota* Holthuis, 1973については下地島の海底洞窟から採集された標本を基に2014年に、それぞれ日本初記録として報告された種である(Brand & Takeda, 1994; Anker & Fujita, 2014)。

### 3. イセエビ下目

イセエビ下目の標本には、イセエビ科3種およびセミエビ科2種の計5種が含まれていた(表1)。これらのうち、カギテリョウマエビ *Justitia longimana* (H. Milne Edwards, 1837) (図2B)とアマミイセエビ *Panulirus femoristriga* (von Martens, 1872) の2種は、琉球列島において極めて報告例の少ない稀種であり、カギテリョウマエビは沖縄島と久米島、アマミイセエビは奄美大島と久米島からのみ正式な記録がある(野村, 1998; 藤田・田端, 2013)。したがって、本報告は、カギテリョウマエビ [登録番号: N11-17-094: ovi.♀, cl 38.7 mm]とアマミイセエビ [登録番号: RUMF-ZC-2438: ♂, cl 91.8 mm] の宮古諸島からの標本を基にした初記録となる(表1)。

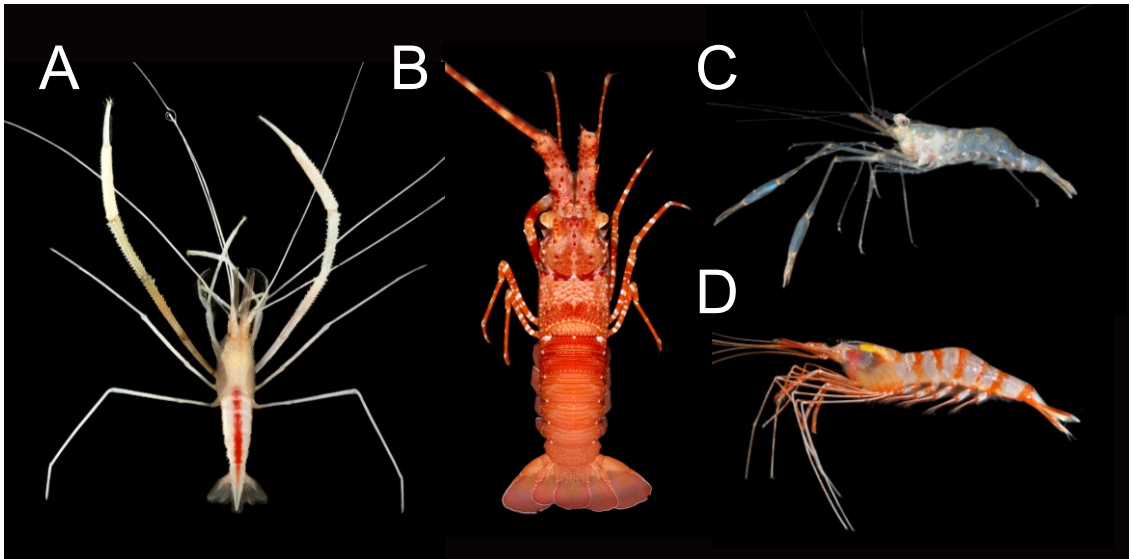


図2. オトヒメエビ科 (A), イセエビ科 (B), テナガエビ科 (C), リュウグウモエビ科 (D). A, クメジマオトヒメエビ, オス (甲長 15.2 mm), RUMF-ZC-2143; B, カギテリョウマエビ, 抱卵メス (甲長 38.7 mm), N11-17-094; C, ハチジョウクラヤマカクレエビ, オス (甲長 4.7 mm), N11-17-227; D, リュウグウモエビ, メス (甲長 14.1 mm), N11-17-230.

Fig. 2. Stenopodidae (A), Palinuridae (B), Palaemonidae (C), and Barbouriidae (D). A, *Stenopus pyrrsonotus* Goy & Devaney, 1980, male (pcl 15.2 mm), RUMF-ZC-2143; B, *Justitia longimana* (H. Milne Edwards, 1837), ovi. female (cl 38.7 mm), N11-17-094; C, *Palaemonella hachijo* Okuno, 1999, male (pcl 4.7 mm), N11-17-227; D, *Parhippolyte misticia* (Clark, 1989), female (pcl 14.1 mm), N11-17-230.

### 4. 異尾下目

異尾下目の標本には、コシオリエビ科1種、スナホリガニ科1種、オカヤドカリ科2種、ヤドカリ科5種、ホンヤドカリ科1種の計10種が含まれていた(表1)。大澤・藤田(2016)は、宮古諸島伊良部島および下地島から報告のある異尾類を27種記録したが、本報で確認されたコシ

オリエビ科のホクロコシオリエビ *Galathea acis* Macpherson & Robainas-Barcia, 2015 [登録標本：N11-17-222 (ovi♀, pcl 3.3 mm)], ヤドカリ科のユビワサンゴヤドカリ *Calcinus elegans* (H. Milne Edwards, 1836) [登録標本：N11-17-232], シロサンゴヤドカリ *Calcinus seurati* Forest, 1951 [登録標本：N11-17-233 (♂, sl 6.1 mm)], イモガイヨコバサミ *Clibanarius eurysternus* (Hilgendorf, 1879) [登録標本：N11-17-209 (♂, sl 5.7 mm)], ツメナガヨコバサミ *Clibanarius longitarsus* (De Haan, 1849) [登録標本：N11-17-206 (♂, sl 5.3 mm), N11-17-207 (♂, sl 3.4 mm)], コモンヤドカリ *Dardanus megistos* (Herbst, 1804) [登録標本：N11-17-202 (♀, sl 6.0 mm)], ホンヤドカリ科のユビナガホンヤドカリ *Pagurus minutus* Hess, 1865 [登録標本：N11-17-208 (♂, sl 2.7 mm)] の7種については、分布記録が示されていないかった。したがって、これら7種については、本報告が宮古諸島からの初記録となる。なお、ホクロコシオリエビの学名については、従来、*Galathea mauritiana* Bouvier, 1914とされてきたが、Macpherson & Robainas-Barcia (2015) によるコシオリエビ属の分類学的再検討によって *G. acis* Macpherson & Robainas-Barcia, 2015に変更されたため、本報告ではこれに従った。

一方、スナホリガニ科のスナホリガニ *Hippa marmorata* (Hombron & Jacquinot, 1846) については、すでに大澤・藤田 (2016) によって下地島から報告されているが、本報告では、さらに宮古島 [登録標本：N11-17-156 (ovi♀, cl 13.3 mm)], 来間島 [登録標本：N11-17-009 (ovi♀, cl 13.9 mm)], 伊良部島 [登録標本：N11-17-155 (♀, cl 13.1 mm)], 多良間島 [登録標本：N11-17-154 (♀, cl 16.7 mm)] からも標本が得られており (表1), それぞれ本種の新産地となる。

## 5. 短尾下目

短尾下目の標本には24科65属91種が含まれていた。宮古諸島における短尾下目 (以降、カニ類と表記する) の報告は極めて限られており、普通種であっても標本を基にして分布根拠を示した記録がほとんどない状態である。実際、諸喜田ら (2001) は、宮古島の島尻マングローブ域において甲殻類調査を実施し、その際採集された27種のカニ類のうちの15種は宮古島初記録であったことに触れ、宮古諸島における甲殻類相調査が不十分であることを指摘した。その後、宮古諸島の陸域・陸水域・マングローブ域に生息する種 (オカガニ科, イワガニ科, ベンケイガニ科, モクズガニ科, スナガニ科など) については、生物相研究が飛躍的に進んだが (例えば、藤田 2007, 2011, 2016, 2017a, 印刷中b; 長井ら, 2011; 前之園・成瀬, 2015), サンゴ礁の浅海域に生息する種での調査例は現在においてもほとんど確認することができない。

本報告で確認された91種のカニ類の過去の分布情報を調べた結果、47種は宮古諸島の初記録種である可能性が高いと判断された (表1)。これらのうち、特筆すべき種 (希少種や分類学的問題のある) について、以下に若干の記述を行う。

## 1) 海底洞窟のカニ類

宮古諸島周辺の浅海域には、海底洞窟が多数あり、これまでも稀少な甲殻類が多数見つかっている (例えば, Okuno, 2003; Anker & Fujita, 2014; 大澤・藤田, 2016; Fujita *et al.*, 2017). 特に, 下地島の通称「悪魔の館」と呼ばれる海底鍾乳洞からは, 本報でもオトヒメエビ類, コエビ類, イセエビ類の稀少種が記録されている. カニ類においては, 藤田ら (2013) によって, ワタリガニ科 (ガザミ科) のモモイロドクツガザミ *Atoportunus gustavi* Ng & Takeda, 2003 とオウギガニ科のクラヤミヒラオウギガニ *Neoliomera cerasinus* Ng, 2002 が記録されている. 本報では, これら2種に加えて, カイカムリ科のオオカイカムリ *Dromia dormia* (Linnaeus, 1763) (図 3A), アカモンガニ科のユウモンガニ *Carpilius convexus* (Forskål, 1775) (図 3B), クモガニ科のノコギリガニ *Schizophrys aspera* (H. Milne Edwards, 1834) (図 3C), ワタリガニ科 (ガザミ科) のカルパガザミ *Carupa tenuipes* Dana, 1852 (図 3D) とナキガザミ *Laleonectes nipponensis* (Sakai, 1938) (図 3E) の5種が確認された. これらのカニ類は, 洞窟環境に生息するカニ類が持つ特徴 (眼が縮小する, 歩脚が細長くなるなど) は有しておらず, 好暗性種あるいは偶来性種と判断することができる. ただし, ナキガザミは, 通常は比較的深い水深帯 (約 50~250m) から記録されているが, パラオでは海底洞窟から記録されている (Takeda, 1998).

## 2) ツブイボショウジンガニ *Plagusia immaculata* Lamarck, 1818

本報では, 伊良部島と下地島の石灰岩岩礁域からショウジンガニ科のツブイボショウジンガニ *Plagusia immaculata* Lamarck, 1818 が確認された (図 3F). 本種は, 国内からの報告例が少ない稀種であり, 琉球列島からは, 沖縄島と石垣島の標本を基に前之園 (2015) によって初めて記録された. 前之園 (2015) は, 本種の詳細な記載と日本産ショウジンガニ科の種の検索表を与えており, 今回調査した標本は, 前之園 (2015) が示した本種の特徴に良く一致した. 本報告は, ツブイボショウジンガニの宮古諸島からの初記録であり, 本種の新産地として伊良部島 [登録標本: RUMF-ZC-04548 (♂, cw 39.4mm)] と下地島 [登録標本: N11-17-181 (ovi.♀, cw 23.5 mm)] を記録する.

## 3) ヒメカクオサガニ *Chaenostama crassimanus* Stimpson, 1858

本報ではオサガニ科カニ類として2属5種が確認された (表 1). これらのオサガニ類の中には, 下地島で採集された甲幅 5 mm 程度の小型種が1種含まれていた [登録標本: N11-17-195 (♂, cw 5.2 mm; ♀, cw 5.4 mm)]. この小型オサガニ類は, 従来, 国内において「ヒメカクオサガニ *Macrophthalmus (Chaenostama) boscii* Audouin, 1826」として広く認識されていた種によく似ている. しかしながら, 近年, *Chaenostama* 亜属の近縁種の分類学的再検討が行われ,

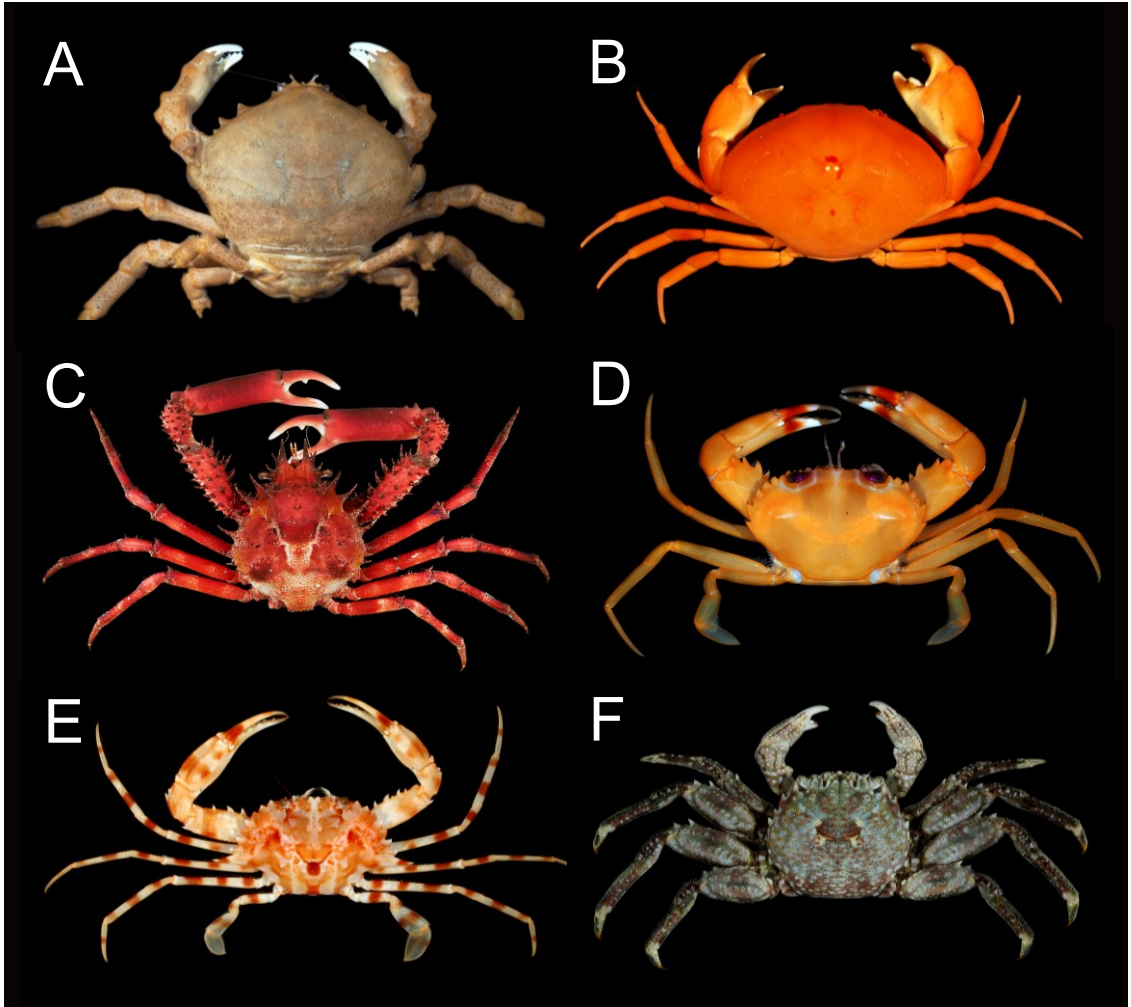


図 3. カイカムリ科 (A), Carpiliidae (B), クモガニ科 (C), ワタリガニ科 (ガザミ科) (D-E), ショウジンガニ科 (F). A, オオカイカムリ, メス (甲幅 123.3 mm), N11-17-095; B, ユウモンガニ, メス (甲幅 100.3 mm), RUMF-ZC-02443; C, ノコギリガニ, オス (甲幅 63.9 mm), N11-17-097; D, カルパガザミ, メス (甲幅 22.8 mm), N11-17-199; E, ナキガザミ, オス (甲幅 65.5 mm), RUMF-ZC-2979; F, ツブイボショウジンガニ, オス (甲幅 39.4 mm), RUMF-ZC-04548.

Fig. 3. Dromiidae (A), Carpiliidae (B), Majidae (C), Portunidae (D-E), and Plagusiidae (F). A, *Dromia dormia* (Linnaeus, 1763), female (cw 123.3 mm), N11-17-095; B, *Carpilius convexus* (Forskål, 1775), female (cw 100.3 mm), RUMF-ZC-02443; C, *Schizophrys aspera* (H. Milne Edwards, 1834), male (cw 63.9 mm), N11-17-097; D, *Carupa tenuipes* Dana, 1852, female (cw 22.8 mm), N11-17-199; E, *Laleonectes nipponensis* (Sakai, 1938), male (cw 65.5 mm), RUMF-ZC-2979; F, *Plagusia immaculata* Lamarck, 1818, male (cw 39.4 mm), RUMF-ZC-04548.

*Chaenostama bosicii* (Audouin, 1826) は、紅海のみ分布する種であると考えられている (Teng et al., 2016). 本報で検討した標本 (N11-17-195) は、1) 前側縁の第 1 歯がやや横方向に突き出ること、2) はさみ脚の指節の内縁の中央部に低く幅広い歯を備えること、などの形態的特徴



を有しており，Shih *et al.* (2015) や Teng *et al.* (2016) が示した *Chaenostama crassimanus* Stimpson, 1858 の特徴に良く一致していた．一方，Shih *et al.* (2015) および Teng *et al.* (2016) は，台湾においては *C. crassimanus* と同属の別種である *C. orientale* Stimpson, 1858 が分布し，しばしば同所的に生息していることを報告している．この両種は，琉球列島産の個体を基に記載された種であるが (Loo Choo として記載されている)，その後，近年に至るまで「ヒメカクオサガニ」として混同されていたため，琉球列島における両種の正確な分布や生息状況 (個体群の大きさなど) については現在も不明な状況にある．しかしその一方で，環境省が 2017 年に発表した「海洋生物レッドリスト」においては，準絶滅危惧種 (NT) の種として「ヒメカクオサガニ *Chaenostama crassimanus*」が挙げられている．本報ではこれに従い，*Chaenostama crassimanus* Stimpson, 1858 の和名としてヒメカクオサガニを用いる．

#### 4) シオマネキ類

本報ではスナガニ科のシオマネキ類が 8 種確認された (表 1)．宮古諸島におけるシオマネキ類については，諸喜田ら (2001) によって島尻マングローブ域から 5 種を記録している．今回確認した 8 種のシオマネキ類のうち，諸喜田ら (2001) の記録になかった種は，シモフリシオマネキ *Austruca triangularis* (A. Milne-Edwards, 1873) (図 4A)，ミナミヒメシオマネキ *Gelasimus jocelynae* (Shih, Naruse & Ng, 2010) (図 4B)，リュウキュウシオマネキ *Tabuca coarctata* (H. Milne Edwards, 1852) (図 4D) の 3 種である．

シモフリシオマネキは，沖縄県のレッドデータブックにおいて「準絶滅危惧」として評価されている希少種であり，沖縄県内では，沖縄島，久米島，石垣島，西表島から記録されている (藤田, 2017b)．よって，本報はシモフリシオマネキの宮古諸島からの初記録であり，本種の新産地として宮古島と伊良部島を記録する．また，リュウキュウシオマネキも，沖縄県のレッドデータブックにおいて「準絶滅危惧」として評価されており，県内の沖縄島，久米島，宮古島，石垣島，西表島から記録されている (藤田, 2017c)．本報では伊良部島から採集された標本を確認できており [登録標本 : N11-17-112 (♂, cw 22.7 mm)]，本種の新産地として伊良部島を追加記録する．

一方，ミナミヒメシオマネキは，Shih *et al.* (2010) によって比較的最近になって記載された種である．本種は，外観がヒメシオマネキ *Gelasimus vocans* (Linnaeus, 1758) (図 4C) に極めてよく似ており，野外で両種を識別することは難しいため，琉球列島における両種の正確な分布情報が混同した状態にある．本報告では，宮古島および伊良部島において採集された標本を基に，両種の生息を確認することができた (表 1)．したがって，本報によって宮古諸島

(宮古島と伊良部島) からミナミヒメシオマネキを初めて記録することになる。また、ヒメシオマネキについても、伊良部島は本種の新産地となる。

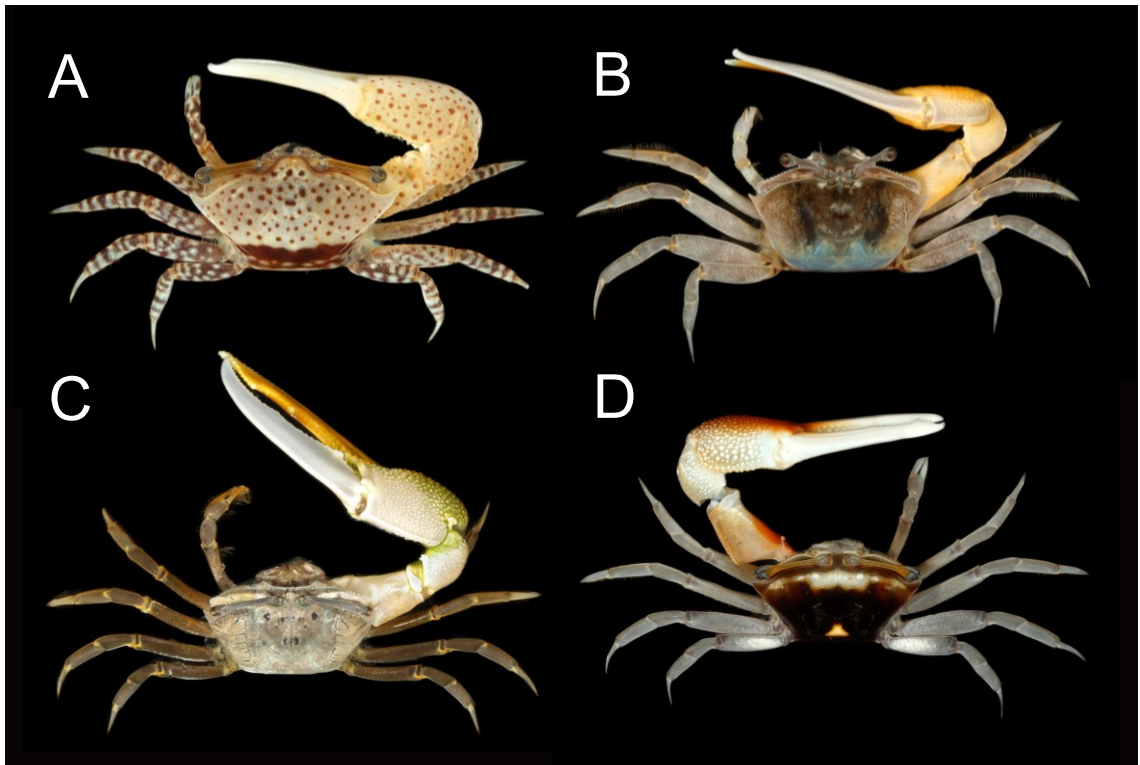


図 4. スナガニ科 (シオマネキ類). A, シモフリシオマネキ, オス (甲幅 13.9 mm), N11-17-055; B, ミナミヒメシオマネキ, オス (甲幅 18.7 mm), N11-17-049; C, ヒメシオマネキ, オス (甲幅 23.3 mm), N11-17-051; D, リュウキュウシオマネキ, オス (甲幅 25.5 mm), N11-17-067.

Fig. 4. Ocypodidae (fiddler crabs). A, *Austruca triangularis* (A. Milne-Edwards, 1873), male (cw 13.9 mm), N11-17-055; B, *Gelasimus jocelynae* (Shih, Naruse & Ng, 2010), male (cw 18.7 mm), N11-17-049; C, *Gelasimus vocans* (Linnaeus, 1758), male (cw 23.3 mm), N11-17-051; D, *Tubuca coarctata* (H. Milne Edwards, 1852), male (cw 25.5 mm), N11-17-067.

### 謝辞

本稿をまとめるにあたり、多くの方々にお世話になった。とりわけ、野外調査においては以下の多くの研究者や協力者にお世話になった: 佐藤宣子 (宮古島市教育委員会生涯学習部生涯学習振興課文化財係市史編さん事務局)・大澤正幸 (島根大学)・水山 克 (琉球大学大学院理工学研究科)・伊勢優史 (名古屋大学大学院理学研究科附属臨海実験所)・伊地博喜 (伊良部島漁協)・富谷 剛 (伊良部島マリンスプロ)・湯野川 恭 (伊江島ダイビングサービス)・白川直樹 (沖縄島ドルフィンキック)・山田祐介 (沖縄県うるま市)。また、本報告で扱った甲殻類標本の採集調査に関しては、トヨタ財団、公益信託 TaKaRa ハーモニストファンド、沖縄海邦

銀行 かいぎん環境貢献基金, 沖縄県サンゴ礁保全活動支援事業助成金, サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金, 独立行政法人日本学術振興会 平成 28 年度 科学研究費助成事業 (基盤研究 C: 課題番号 16K07490: 研究代表 藤田喜久) による研究援助をいただいた。以上の関係者および関係機関に感謝する。

## 引用文献

- Anker A. 2010. A second finding of *Vercoia interrupta* Kim & Fujita, 2004 (Crustacea, Decapoda, Crangonidae), a remarkable shrimp imitating dead snail shells. The Raffles Bulletin of Zoology, 58: 27–30.
- Anker, A. & Fujita, Y., 2014. On the presence of the anchialine shrimp *Calliasmata pholidota* Holthuis, 1973 (Crustacea: Decapoda: Caridea: Barbouriidae) in Shimoji Island, Ryukyu Islands, Japan Fauna Ryukyuana, 17: 7–11.
- Brand, T.M., & Takeda, M., 1994. New records of the hippolytid shrimp, *Koror mysticius* CLARK, 1989, from submarine caves of the Ryukyu Islands. Bulletin of the National Science Museum. Series A, Zoology, 20: 77–81.
- De Grave, S., Pentcheff, N.D., Ahyong, S.T., Chan, T.-Y., Crandall, K.A., Dworschak, P.C., Felder, D.L., Feldmann, R.M., Fransen, C.H.J.M., Goulding, L.Y.D., Lemaitre, R., Low, M.E.Y., Martin, J.M., Ng, P.K.L., Schweitzer, C.E., Tan, S.H., Tshudy, D., Wetzer, R., 2009. A classification of living and fossil genera of decapod crustaceans. The Raffles Bulletin of Zoology, Supplement, 21: 1–109.
- 藤田喜久, 2007. 宮古の湧水に生息する十脚甲殻類. 宮古島市総合博物館紀要, 11: 89–110.
- 藤田喜久, 2011. 第 2 章 第 2 節 5 陸生・半陸生甲殻類. 宮古島市教育委員会 (編), 『国指定名勝「東平安名崎」保存管理計画策定報告書』, 宮古島市教育委員会, 199pp.
- 藤田喜久, 2016. 宮古諸島フデ岩の陸棲・半陸棲十脚甲殻類. 宮古島市博物館紀要, 20: 37–52.
- 藤田喜久, 2017a. 宮古諸島水納島の十脚甲殻類相. 宮古島市博物館紀要, 21: 91–110.
- 藤田喜久, 2017b. シモフリシオマネキ, p.346–347. 沖縄県環境部自然保護課, 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第 3 版 (動物編) レッドデータおきなわ. 那覇市, 712pp.
- 藤田喜久, 2017c. リュウキュウシオマネキ, p.346. 沖縄県環境部自然保護課, 改訂・沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物 第 3 版 (動物編) レッドデータおきなわ. 那覇市, 712pp.
- 藤田喜久 (印刷中 a). エビ・カニ類の生息場所から見た沖縄の海の自然環境. 芸術論の現在 沖縄からの発信 沖縄県立芸術大学開学 30 周年記念論集.
- 藤田喜久 (印刷中 b). 宮古諸島池間島・大神島・来間島の十脚甲殻類. 宮古島市総合博物館紀要, 22.
- 藤田喜久・砂川博秋, 2008. 多良間島の洞穴性および陸性十脚甲殻類. 宮古島市総合博物館紀要, 12: 53–80.
- 藤田喜久・田端裕二, 2013. 久米島沿岸で採集された 2 種のイセエビ類. 久米島博物館紀要, 13: 11–17.
- 藤田喜久・成瀬貫・山田祐介, 2013. 宮古諸島下地島の海底洞窟で採集されたカニ類 2 稀種. Fauna Ryukyuana, 1: 1–9.
- Fujita, Y., Mizuyama, M., & Yamada, Y., 2017. *Bresilia rufioculus* Komai & Yamada, 2011 (Decapoda: Caridea: Bresiliidae) from a submarine cave in Shimoji-jima Island, Miyako Island Group, southern Ryukyus, Japan. Fauna Ryukyuana, 37: 31–33.

- Kim, J. N., & Fujita, Y., 2004. A new species of the genus *Vercoia* from Okinawa Island, Japan (Crustacea, Decapoda, Caridea, Crangonidae), with descriptions of its zoeal stages. *Journal of Natural History*, 38: 2013–2031.
- Macpherson, E., & Robainas-Barcia, A., 2015. Species of the genus *Galathea* Fabricius, 1793 (Crustacea, Decapoda, Galatheididae) from the Indian and Pacific Oceans, with descriptions of 92 new species. *Zootaxa*, 3913(1), 1–335.
- 前之園唯史, 2015. 琉球列島より採集された 2 種のイボショウジンガニ属 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ショウジンガニ科). *Fauna Ryukyuana*, 26: 9–15.
- 前之園唯史・成瀬貫, 2015. 琉球列島のカクベンケイガニ属 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目: ベンケイガニ科) 6 種の形態的特徴と分類学的諸問題. *Fauna Ryukyuana*, 23: 1–41.
- 峯水亮, 2013. サンゴ礁のエビハンドブック. 文一総合出版, 東京.
- 長井隆・成瀬貫・前之園唯史・藤田喜久・駒井智幸, 2011. 琉球列島におけるアシハラガニモドキ属とその近似属 (甲殻亜門: 十脚目: 短尾下目) の種の再検討と分布状況. *沖縄生物学会誌*, 49: 15–36.
- 野村恵一, 1998. 串本 (和歌山県) で採集された 2 種の珍しいイセエビ類. *南紀生物*, 40: 113–115.
- Okuno, J., 2003. A new species of the genus *Odontozona* Holthuis, 1946 (Crustacea: Decapoda: Stenopodidae) from submarine caves in southern Japan. *Natural History Research*, 7: 167–180.
- 奥野淳兒・斉藤知己・川本剛志・平山 昌・野村恵一, 2003. クメジマオトヒメエビ (新称) (甲殻上綱: 十脚目: オトヒメエビ科) の東アジア海域における記録と種内変異. *千葉県立中央博物館自然誌研究報告*, 7: 79–84.
- 大澤正幸・藤田喜久, 2016. 宮古諸島伊良部島・下地島から得られた口脚目および十脚目 (アナエビ下目, アナジャコ下目, 異尾下目) 甲殻類. *Fauna Ryukyuana*, 28: 37–56.
- Shih, H.-T., Naruse, T., & Ng, P.K.L., 2010a. *Uca jocelynae* sp. nov., a new species of fiddler crab (Crustacea: Brachyura: Ocypodidae) from the Western Pacific. *Zootaxa*, 2337: 47–62.
- Shih, H.-T., Chan, B.K.K., Teng, S.-J., & Wong, K.J.H., 2015. Crustacean fauna of Taiwan: Brachyuran crabs, Volume II. Ocypodoidea. National Chung Hsing University, Taichung, Taiwan, 320pp.
- 諸喜田茂充, 1996. 平良市の陸水および海洋環境の保全. 161-195. 沖縄国際大学南島文化研究所編, 「平良市自然環境保全基本構想」, 沖縄県平良市, 197pp.
- 諸喜田茂充・長井隆・山崎貴之・長松俊樹, 2001. 宮古島島尻マングローブ域の甲殻類の分布と現存量および生活史, p.88–97. 平成 12 年度内閣府委託調査研究, 「マングローブに関する調査研究報告書」.
- Takeda, M., 1998. Crabs collected from submarine caves in the Palau Islands. *Natural Environmental Science Research*, 11: 43–47.
- Teng, S.-J., Shih, H.-T., Naderloo, R., & Corbari, L. 2016. A review of the *Chaenostoma boscii* species-complex (Decapoda: Brachyura: Macrophthalmidae) from the Indo-West Pacific. *Crustacean Research*, 45: 15–27.

表1. 宮古諸島で採集された十脚甲殻類. 和名の左肩の\*は宮古諸島初記録種を示す.

Table 1. List of decapod crustaceans collected from Miyako Island Group, Ryukyu Islands, Japan. \*: new records from Miyako Island Group.

種名 Species	採集場所 Locality	標本 Specimen
オトヒメエビ下目 Stenopodidea		
オトヒメエビ科 Stenopodidae		
アカオビスベスベオトヒメエビ <i>Odontozona fasciata</i> Okuno, 2003	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-226 (♂, pd 6.1 mm), N11-17-229 (♀, pd 4.2 mm), RUMF-ZC-2279 (♂, pd 11.0 mm)
*クメジマオトヒメエビ <i>Stenopus pyrsonotus</i> Goy & Devaney, 1980	下地島, 通り池	RUMF-ZC-2143 (♂, pd 15.2 mm)
コエビ下目 Caridea		
テナガエビ科 Palaemonidae		
テナガエビ亜科 Palaemoninae		
スベスベテナガエビ <i>Macrobrachium equidens</i> (Dana, 1852)	宮古島, ヒダ川	N11-17-054 (ovi ♀, pd 16.6 mm)
スネナガエビ <i>Palaemon debilis</i> Dana, 1852	入江水道マンガローブ域 (伊良部島側)	N11-17-164 (♀, pd 4.5 mm)
カクレエビ亜科 Pontoninae		
*ハチジョウクラヤミカクレエビ <i>Palaemonella hachijo</i> Okuno, 1999	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-227 (♂, pd 4.7 mm)
リュウグウモエビ科 Barbouriidae		
イラウモエビ <i>Callinastata pholidota</i> Holthuis, 1973	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-200 (2♂, cw 7.5 mm, 7.2 mm), N11-17-228 (♀, pd 7.8 mm)
リュウグウモエビ <i>Parhippolyte misticia</i> (Clark, 1989)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-230 (♀, pd 14.1 mm)
モエビ科 Hippolytidae		
フシウデサンゴモエビ <i>Saron marmoratus</i> (Olivier, 1811)	佐和田の浜 (下地島側)	N11-17-205 (ovi ♀, pd 9.8 mm)
エビジャコ科 Crangonidae		
*カワリエビジャコ属の一種 <i>Vercoia interrupta</i> Kim & Fujita, 2004	下地島, 中の島	N11-17-198 (♀, pd 4.6 mm)
イセエビ下目 Achelata		
イセエビ科 Palinuridae		
*カギテリョウマエビ <i>Justia longimana</i> (H. Milne Edwards, 1837)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-094 (ovi ♀, cl 38.7 mm)
*アママイセエビ <i>Panulirus femoristriga</i> (von Martens, 1872)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	RUMF-ZC-2438 (♂, cl 91.8 mm)
カノコイセエビ <i>Panulirus longipes longipes</i> (A. Milne-Edwards, 1868)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-093 (♀, cl 20.1 mm), RUMF-ZC-2440 (♀, cl 27.9 mm), RUMF-ZC-2442 (♀, cl 67.4 mm)
セミエビ科 Scyllaridae		
セミエビ <i>Scyllarides squammosus</i> (H. Milne Edwards, 1837)	下地島, 中の島	RUMF-ZC-2441 (♂, cl 93.2 mm)
ミナミゾウリエビ <i>Parribacus antarcticus</i> (Lund, 1793)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-096 (♀, cl 81.2 mm)
異尾下目 Anomura		
コシオリエビ科 Galatheididae		
*ホクロコシオリエビ <i>Galathea acis</i> Macpherson & Robainas-Barcia, 2015	下地島, 下地空港西側海岸	N11-17-222 (ovi ♀, pd 3.3 mm)
スナホリガニ科 Hippidae		
スナホリガニ <i>Hippa marmorata</i> (Hombron & Jacquinot, 1846)	宮古島, 新城海岸 来間島, タコ公園 伊良部島, 佐和田の浜 多良間島, ト「ガリ」ラトゥブリ	N11-17-156 (ovi ♀, cl 13.3 mm) N11-17-009 (ovi ♀, cl 13.9 mm) N11-17-155 (♀, cl 13.1 mm) N11-17-154 (♀, cl 16.7 mm)
オカヤドカリ科 Coenobitidae		
オカヤドカリ <i>Coenobita cavipes</i> Stimpson, 1858	宮古島, ヒダ川	N11-17-041 (♂, sl 19.8 mm)
コムラサキオカヤドカリ <i>Coenobita violascens</i> Heller, 1862	宮古島, ヒダ川 宮古島, 川満マンガローブ域	N11-17-037 (♂, sl 15.5 mm) N11-17-036 (♀, sl 17.5 mm)
ヤドカリ科 Diogenidae		
*ユビワサンゴヤドカリ <i>Calcinus elegans</i> (H. Milne Edwards, 1836)	下地島, 中の島	N11-17-232 (♀, sl 5.0 mm)
*シロサンゴヤドカリ <i>Calcinus seurati</i> Forest, 1951	下地島, 中の島	N11-17-233 (♂, sl 6.1 mm)
*イモガイヨコバサミ <i>Clibanarius eurysternus</i> (Hilgendorf, 1879)	下地島, 下地空港西側海岸	N11-17-209 (♂, sl 5.7 mm)
*ツメナガヨコバサミ <i>Clibanarius longitarsus</i> (De Haan, 1849)	宮古島, 川満マンガローブ域	N11-17-206 (♂, sl 5.3 mm), N11-17-207 (♂, sl 3.4 mm)
*コモンヤドカリ <i>Dardanus megistos</i> (Herbst, 1804)	下地島, 下地空港西側海岸	N11-17-202 (♀, sl 6.0 mm)
ホンヤドカリ科 Paguridae		
*ユビナガホンヤドカリ <i>Pagurus minutus</i> Hess, 1865	宮古島, 川満マンガローブ域	N11-17-208 (♂, sl 2.7 mm)
短尾下目 Brachyura		
カイカムリ科 Dromiidae		
*オオカイカムリ <i>Dromia dormia</i> (Linnaeus, 1763)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-095 (♀, cw 123.3 mm)
メンコヒシガニ科 Aethridae		
*メンコヒシガニ <i>Aethra scruposa</i> (Linnaeus, 1764)	来間島, 来間漁港沖	RUMF-ZC-2206 (♀, cw 41.3 mm)
カラッパ科 Calappidae		
ソデカラッパ <i>Calappa hepatica</i> (Linnaeus, 1758)	宮古島, 大浦干潟	N11-17-078 (♂, cw 46.7 mm), N11-17-079 (♀, cw 53.3 mm)
アカモンガニ科 Carpiliidae		
*ユウモンガニ <i>Carpilius convexus</i> (Forskål, 1775)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	RUMF-ZC-02443 (♀, cw 100.3 mm), RUMF-ZC-02258 (♂, cw 78.9 mm)
イソオウギガニ科 Eriphiidae		
*ヒメイワオウギガニ <i>Eriphia scabricula</i> Dana, 1852	来間島, タコ公園	RUMF-ZC-04561 (ovi ♀, cw 16.8 mm)
*イワオウギガニ <i>Eriphia sebana</i> (Shaw & Nodder, 1803)	下地島, 下地空港西側海岸 佐和田の浜 (伊良部島側)	N11-17-212 (♀, cw 17.7 mm) N11-17-172 (♀, cw 34.5 mm)

<b>Oziidae</b>			
クマドリオウギガニ	<i>Baptosius vinosus</i> (H. Milne Edwards, 1834)	宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-069 (♂, cw 56.5 mm)
*カノコセビロガニ	<i>Epixanthus dentatus</i> (White, 1848)	宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-045 (♀, cw 41.1 mm)
*セビロオウギガニ	<i>Epixanthus frontalis</i> (H. Milne Edwards, 1834)	宮古島, 島尻, 小離島	N11-17-189 (♂, cw 26.5 mm), N11-17-190 (♀, cw 21.8 mm)
<b>モガニ科 Epialtidae</b>			
*イソクズガニ	<i>Tiarinia cornigera</i> (Latreille, 1825)	下地島, 下地空港西側海岸	N11-17-196 (♀, cw 13.6 mm)
<b>ヤワラガニ科 Hymenosomatidae</b>			
*ヒメソバガラガニ	<i>Elamena truncata</i> (Stimpson, 1858)	下地島, 中の島	N11-17-203 (♂, cw 5.1 mm)
<b>クモガニ科 Inachidae</b>			
*モクズシヨイ	<i>Camposcia retusa</i> (Latreille, 1829)	下地島, 下地空港西側海岸	N11-14-006
*クビナシアケウス	<i>Chalaroachaeus curvipes</i> De Man, 1902	下地島, 中の島	N11-17-236 (♂, cw 1.9 mm)
<b>ケアシガニ科 Majidae</b>			
*ノコギリガニ	<i>Schizophrys aspera</i> (H. Milne Edwards, 1834)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-097 (♂, cw 63.9 mm)
<b>イトアシガニ科 Palicidae</b>			
*アカモンイトアシガニ	<i>Exopalicus maculatus</i> (Edmondson, 1930)	下地島, 中の島	N11-17-086 (ovi ♀, cw 12.1 mm), N11-17-087 (♀, cw 9.8 mm)
<b>ケブカガニ科 Pilumnidae</b>			
*スエヒロイボテガニ	<i>Actumnus setifer</i> (De Haan, 1833)	来間島, 来間漁港沖	N11-17-234 (♀, cw 13.6 mm)
*ミナミトラノオガニ	<i>Pilumnopeus marginatus</i> (Stimpson, 1858)	宮古島, ヒダ川 入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-224 (♀, cw 15.2 mm) N11-17-225 (♀, cw 18.4 mm)
*ケブカガニ	<i>Pilumnus vespertilio</i> (Fabricius, 1793)	来間島, タコ公園	RUMF-ZC-04563 (ovi ♀, cw 25.9 mm)
*メイロケブカガニ	<i>Vellumnus vermiculatus</i> (A. Milne Edwards, 1873)	下地島, 下地空港西側海岸	N11-17-220 (♂, cw 10.2 mm)
<b>ワタリガニ科 (ガザミ科) Portunidae</b>			
<b>Carupinae</b>			
*カルバガザミ	<i>Carupa tenuipes</i> Dana, 1852	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-199 (♀, cw 22.8 mm)
*ナキガザミ	<i>Laleonectes nipponensis</i> (Sakai, 1938)	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	RUMF-ZC-2462 (♂, cw 65.6 mm), RUMF-ZC-2979 (♂, cw 65.5 mm)
<b>Thalamitinae</b>			
*フタハベニツケモドキ	<i>Thalamita admete</i> (Herbst, 1803)	下地島, 中の島	N11-17-188 (♀, cw 15.5 mm)
ミナミベニツケガニ	<i>Thalamita crenata</i> Rüppell, 1830	宮古島, 川満マングローブ域 入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-131 (♂, cw 30.9 mm) N11-17-186 (♂, cw 59.2 mm)
*ヒメフタハベニツケガニ	<i>Thalamita integra integra</i> Dana, 1852	下地島, 下地空港西側海岸	N11-17-204 (♂, cw 23.5 mm)
*ヒメベニツケガニ	<i>Thalamita picta</i> Stimpson, 1858	下地島, 中の島	N11-17-187 (♂, cw 15.2 mm)
<b>サンゴガニ科 Trapeziidae</b>			
<b>Quadrrellinae</b>			
*ホシベニサンゴガニ	<i>Quadrrella maculosa</i> Alcock, 1898	下地島, 通り池	N11-17-076 (♂, cw 9.1 mm; ♀, cw 7.5 mm)
<b>Trapeziinae</b>			
*アラメサンゴガニ	<i>Trapezia flavopunctata</i> Eydoux & Souleyet, 1842	伊良部島, 白島崎沖	N11-17-182 (♂, cw 25.6 mm)
<b>オウギガニ科 Xanthidae</b>			
<b>Actaeinae</b>			
*アラゲアワツブガニ	<i>Actaeodes hirsutissimus</i> (Rüppell, 1830)	佐和田の浜 (伊良部島側)	N11-17-223 (♂, cw 17.3 mm)
<b>Chlorodiellinae</b>			
*ヒツメオウギガニ	<i>Cyclodius unguulatus</i> (H. Milne Edwards, 1834)	佐和田の浜 (伊良部島側)	N11-17-193 (♂, cw 16.9 mm, 16.0 mm)
<b>Etisinae</b>			
*ヒツメガニ	<i>Etisia laevimanus</i> Randall, 1840	下地島, 中の島	N11-17-192 (♂, cw 38.1 mm)
<b>Liomerinae</b>			
*ヒメベニオウギガニ	<i>Liomera laevis</i> (A. Milne Edwards, 1873)	下地島, 下地空港西側海岸	N11-17-211 (♀, cw 17.3 mm)
クラヤミヒラオウギガニ	<i>Neoliomera cerasinus</i> Ng, 2002	下地島, 海底洞窟 (悪魔の館)	N11-17-197 (♀, cw 35.1 mm)
<b>Polydectinae</b>			
*キンチャクガニ	<i>Lybia tessellata</i> (Latreille in Milbert, 1812)	下地島, 中の島	N11-17-235 (♂, cw 6.1 mm)
<b>Xanthinae</b>			
オウギガニ	<i>Leptodius exaratus</i> (H. Milne Edwards, 1834)	宮古島, 嘉手苺入江	N11-17-219 (♂, cw 20.2 mm)
*ムツハオウギガニ	<i>Leptodius sanguineus</i> (H. Milne Edwards, 1834)	佐和田の浜 (伊良部島側)	N11-17-191 (♂, cw 26.9 mm)
<b>Zosiminae</b>			
*スベスベマンジュウガニ	<i>Atergatis floridus</i> (Linnaeus, 1767)	来間島, ムスス浜	N11-17-064 (♂, cw 46.0 mm)
*ツブヒラアシオウギガニ	<i>Platypodia granulosa</i> (Rüppell, 1830)	佐和田の浜 (伊良部島側)	N11-17-221 (♀, cw 19.0 mm)
*ウモレオウギガニ	<i>Zosimus aeneus</i> (Linnaeus, 1758)	フゲ岩	N11-17-210 (♂, cw 45.7 mm)
<b>オカガニ科 Gecarcinidae</b>			
オオオカガニ	<i>Cardisoma carnifex</i> (Herbst, 1796)	入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-231
ヘリトリオカガニ	<i>Discoplax rotunda</i> (Quoy & Gaimard, 1824)	伊良部島, 白島崎	RUMF-ZC-2615 (♀, cw 21.2 mm)
<b>イワガニ科 Grapsidae</b>			
オオカクレイワガニ	<i>Geograpsus crinipes</i> (Dana, 1851)	下地島, 中の島 多良間島, ト'ガリ'ラトゥブリ 渡口の浜 (伊良部島側)	N11-17-083 (♀, cw 49.8 mm) N11-17-071 (♂, cw 35.0 mm) N11-17-176 (♂, cw 17.9 mm)
カクレイワガニ	<i>Geograpsus grayi</i> (H. Milne Edwards, 1853)	下地島, 中の島	RUMF-ZC-04544 (♀, cw 27.3 mm)
アカカクレイワガニ	<i>Geograpsus stormi</i> De Man, 1895	伊良部島, 白島崎	RUMF-ZC-2616 (♂, cw 25.6 mm), RUMF-ZC-2617 (♂, cw 42.6 mm)
ミナミイワガニ	<i>Grapsus albolineatus</i> Latreille, in Milbert, 1812	渡口の浜 (伊良部島側)	RUMF-ZC-04540 (♀, cw 29.4 mm)
オオイワガニ	<i>Grapsus tenuicrustatus</i> (Herbst, 1783)	渡口の浜 (伊良部島側) 下地島, 下地空港西側海岸 下地島, 中の島	RUMF-ZC-04539 (♀, cw 34.6 mm) N11-17-178 (♂, cw 28.8 mm) N11-17-082 (♂, cw 44.8 mm), N11-17-084 (♂, cw 46.5 mm)
ツブイワガニ	<i>Grapsus</i> sp.	渡口の浜 (伊良部島側)	RUMF-ZC-04541 (♂, cw 23.9 mm)
ヒメイワガニ	<i>Pachygrapsus minutus</i> A. Milne-Edwards, 1873	下地島, 中の島 下地島, 中の島	N11-17-179 (♂, cw 19.5 mm) N11-17-194 (2♀, cw 6.5 mm, 7.4 mm)

コイワガニ ハシライワガニモドキ	<i>Pachygrapsus plicatus</i> (H. Milne Edwards, 1837) <i>Metopograpsus thukuhar</i> (Owen, 1839)	渡口の浜 (伊良部島側) 宮古島, 川満マングロープ域 入江水道マングロープ域 (伊良部島側)	RUMF-ZC-04542 (♀, cw 12.6mm) N11-17-130 (♀, cw 26.3 mm) N11-17-173 (♂, cw 21.0 mm)
ショウジンガニ科 Plagusiidae *ツブイボショウジンガニ	<i>Plagusia immaculata</i> Lamarck, 1818	渡口の浜 (伊良部島側) 下地島, 下地空港西側海岸	RUMF-ZC-04548 (♂, cw 39.4mm) N11-17-181 (ovi. ♀, cw 23.5 mm)
ベンケイガニ科 Sesarmidae クロベンケイガニ フジテガニ	<i>Chiramantes dehaani</i> (H. Milne Edwards, 1853) <i>Clistoceloma villosum</i> (A. Milne-Edwards, 1869)	宮古島, 島尻マングロープ域 宮古島, ヒダ川 宮古島, 川満マングロープ域 入江水道マングロープ域 (伊良部島側)	N11-17-072 (♂, cw 31.3 mm) N11-17-035 (♂, cw 14.4 mm) N11-17-052 (♀, cw 10.2 mm), N11-17-121 (♂, cw 10.6 mm) N11-17-120 (♀, cw 19.1 mm), N11-17-151 (♂, cw 14.3 mm)
*オオベンケイガニ	<i>Episesarma lafondi</i> (Hombron & Jacquinot, 1846)	宮古島, 島尻マングロープ域 宮古島, 川満マングロープ域	N11-17-063 (♂, cw 44.5 mm) N11-17-077 (♂, cw 36.6 mm; ♀, cw 35.0 mm)
イワトビベンケイガニ	<i>Metasesarma obesum</i> (Dana, 1851)	伊良部島, 白鳥崎 下地島, 中の島	N11-17-152 (♂, cw 14.4 mm) N11-17-157 (♂, cw 10.2 mm)
オオアシハラガニモドキ	<i>Neosarmatium fourmanoiri</i> Scérène, 1973	宮古島, 島尻マングロープ域 入江水道マングロープ域 (伊良部島側)	N11-17-068 (♂, cw 35.9 mm) N11-17-171 (♂, cw 35.3 mm; ♀, cw 33.2 mm)
ヒナアシハラモドキ アシハラガニモドキ キノボリベンケイガニ	<i>Neosarmatium laeve</i> (A. Milne-Edwards, 1869) <i>Neosarmatium smithi</i> (H. Milne Edwards, 1853) <i>Parasesarma leptosoma</i> (Hilgendorf, 1869)	宮古島, 川満マングロープ域 宮古島, 島尻マングロープ域 宮古島, 島尻マングロープ域 宮古島, ヒダ川	N11-17-137 (♀, cw 12.3 mm) N11-17-161 (2♂, cw 26.9 mm, 36.6 mm) N11-17-132 (♂, cw 14.1 mm), N11-17-158 (♂, cw 15.5 mm) N11-17-039 (♀, cw 18.2 mm), N11-17-040 (♂, cw 19.5 mm), N11-17-043 (♀, cw 16.4 mm), N11-17-129 (♂, cw 13.4 mm)
*カクベンケイガニ ユビアカベンケイガニ	<i>Parasesarma pictum</i> (de Haan, 1835) <i>Parasesarma tripectinis</i> (Shen, 1940)	宮古島, 島尻, 小離島 宮古島, 島尻マングロープ域 宮古島, 川満マングロープ域	N11-17-126 (♂, cw 16.4 mm), N11-17-127 (♀, cw 15.6 mm) N11-17-044 (♀, cw 14.8 mm) N11-17-140 (♀, cw 10.1 mm) N11-17-136 (♂, cw 12.7 mm)
フタバカクガニ	<i>Perisesarma bidens</i> (de Haan, 1835)	宮古島, 川満マングロープ域	N11-17-042 (♂, cw 26.1 mm), N11-17-075 (♂, cw 21.3 mm)
フタバカクガニモドキ ミゾテアシハラガニ	<i>Perisesarma semperi</i> (Bürger, 1893) <i>Sarmatium striaticarpus</i> Davie, 1992	宮古島, 川満マングロープ域 宮古島, 島尻マングロープ域	N11-17-134 (♀, cw 16.8 mm) N11-17-085 (♂, cw 20.0 mm), N11-17-125 (♂, cw 19.0 mm)
アシナガベンケイガニ タイワンベンケイガニ	<i>Sesarmoides kraussi</i> (de Man, 1887) <i>Sesarmops impressum</i> (H. Milne Edwards, 1837)	入江水道マングロープ域 (伊良部島側) 宮古島, ヒダ川 宮古島, ムイガー海岸	N11-17-123 (♂, cw 17.8 mm) N11-17-153 (♀, cw 12.9 mm) N11-17-139 (♂, cw 16.3 mm), N11-17-162 (♀, cw 15.6 mm)
モクスズガニ科 Varunidae Cyclograpsinae ミナミアカイソガニ	<i>Cyclograpsus integer</i> H. Milne Edwards, 1837	宮古島, 新城海岸 渡口の浜 (伊良部島側) 下地島, 中の島	N11-17-168 (♂, cw 6.8mm) RUMF-ZC-04543 (♂, cw 8.8mm) N11-17-167 (♀, cw 7.3 mm)
タイワンアシハラガニ	<i>Helice formosensis</i> Rathbun, 1931	宮古島, 島尻マングロープ域 宮古島, 川満マングロープ域	N11-17-159 (♂, cw 29.3 mm) N11-17-053 (♂, cw 28.7 mm)
ミナミアシハラガニ	<i>Pseudohelice subquadrata</i> (Dana, 1851)	入江水道マングロープ域 (伊良部島側) 宮古島, ヒダ川 宮古島, 川満マングロープ域	N11-17-160 (♀, cw 26.7 mm) N11-17-038 (♀, cw 13.7 mm) N11-17-074 (♂, cw 18.8 mm), N11-17-119 (♀, cw 14.1 mm), N11-17-128 (♀, cw 15.3 mm)
Varuninae *トゲアシヒライソガニモドキ	<i>Parapyxidognathus detanira</i> (De Man, 1888)	入江水道マングロープ域 (伊良部島側) 宮古島, 島尻マングロープ域	N11-17-122 (♀, cw 15.9 mm) N11-17-133 (♀, cw 12.4 mm), N11-17-185 (♂, cw 11.4 mm)
ヒメイワガニモドキ	<i>Pseudograpsus albus</i> Stimpson, 1858	宮古島, ヒダ川 入江水道マングロープ域 (伊良部島側) 宮古島, 東平安名漁港砂浜 渡口の浜 (伊良部島側)	N11-17-138 (♂, cw 10.7 mm) N11-17-170 (♀, cw 7.2 mm) N11-17-177 (♀, cw 8.5 mm) N11-17-166 (♀, cw 7.9 mm)
*アゴヒロカワガニ *タイワンヒライソモドキ	<i>Pychnognathus altimanus</i> (Rathbun, 1915) <i>Pychnognathus ishii</i> Sakai, 1939	下地島, 中の島 宮古島, ヒダ川 宮古島, 島尻マングロープ域	N11-17-081 (♂, cw 9.9 mm) N11-17-135 (♂, cw 20.7 mm) N11-17-183 (♂, cw 12.2 mm)
オオヒライソガニ コメツギガニ科 Dotillidae *ツノメチゴガニ	<i>Varuna literata</i> (Fabricius, 1798) <i>Tmethypocoelis choreutes</i> Davie & Kosuge, 1995	入江水道マングロープ域 (伊良部島側) 宮古島, ムイガー海岸	N11-17-184 (♂, cw 10.3 mm) N11-17-201 (♂, cw 24.2 mm)
オサガニ科 Macrophthalmidae *ヨコスジオサガニ	<i>Macrophthalmus (Mareotis) definitus</i> Adams & White, 1849	宮古島, 川満マングロープ域 宮古島, 島尻マングロープ域 入江水道マングロープ域 (伊良部島側)	N11-17-113 (♂, cw 7.2 mm) N11-17-141 (♂, cw 24.7 mm), N11-17-144 (ovi. ♀, cw 23.2 mm) N11-17-143 (ovi. ♀, cw 16.7 mm) N11-17-142 (♂, cw 25.0 mm; ♀, cw 23.4 mm)
*ミナミメナガオサガニ *ヒメヤマトオサガニ	<i>Macrophthalmus (Macrophthalmus) milloti</i> Crosnier, 1965 <i>Macrophthalmus (Mareotis) banzai</i> Wada & Sakai, 1989	宮古島, 大浦干潟 宮古島, 島尻マングロープ域 宮古島, ヒダ川	N11-17-145 (♀, cw 16.6 mm) N11-17-147 (♂, cw 17.4 mm) N11-17-146 (♂, cw 13.5 mm)
フタハオサガニ	<i>Macrophthalmus (Macrophthalmus) convexus</i> Stimpson, 1858	入江水道マングロープ域 (伊良部島側) 宮古島, 島尻漁港干潟 宮古島, 島尻マングロープ域	N11-17-169 (♂, cw 11.3 mm) N11-17-148 (♀, cw 17.9 mm) N11-17-150 (♂, cw 24.5 mm)

		宮古島, 嘉手苅入江	N11-17-174 (♀, cw 23.7 mm), N11-17-175 (♂, cw 21.0 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-149 (♂, cw 20.1 mm)
		佐和田の浜 (下地島側)	N11-17-195 (♂, cw 5.2 mm; ♀, cw 5.4 mm)
*ヒメカクオサガニ	<i>Chaenostama crassimanus</i> Stimpson, 1858		
ミナミコメツキガニ科 Mictyridae			
*ミナミコメツキガニ	<i>Mictyris guinotae</i> Davic, Shih & Chan, 2010	宮古島, 島尻, 小離島	N11-17-034 (♂, cw 12.9 mm)
		宮古島, 島尻漁港干潟	N11-17-046 (♂, cw 13.1 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-116 (♂, cw 13.4 mm)
スナガニ科 Ocypodidae			
Gelasiminae			
オキナワハクセンシオマナネキ	<i>Austruca perplexa</i> (H. Milne Edwards, 1852)	宮古島, 島尻マングローブ域	N11-17-100 (♂, cw 15.9 mm)
		宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-047 (♂, cw 17.4 mm)
		宮古島, 嘉手苅入江	N11-17-118 (2♂, cw 12.6 mm, 15.9 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-117 (♂, cw 16.3 mm)
*シモフリシオマナネキ	<i>Austruca triangularis</i> (A. Milne-Edwards, 1873)	宮古島, 島尻マングローブ域	N11-17-050 (♂, cw 14.2 mm)
		宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-055 (♂, cw 13.9 mm), N11-17-073 (♂, cw 13.7 mm)
		宮古島, 嘉手苅入江	N11-17-062 (♂, cw 13.7 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-111 (♂, cw 13.1 mm)
*ミナミヒメシオマナネキ	<i>Gelasimus jocelynae</i> (Shih, Naruse & Ng, 2010)	宮古島, 島尻マングローブ域	N11-17-049 (♂, cw 18.7 mm), N11-17-115 (♀, cw 14.7 mm)
		宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-061 (♂, cw 16.7 mm)
		宮古島, 嘉手苅入江	N11-17-213 (♂, cw 13.8 mm), N11-17-217 (♂, cw 18.1 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-101 (♂, cw 18.7 mm)
ルリマダラシオマナネキ	<i>Gelasimus tetragonon</i> (Herbst, 1790)	宮古島, 島尻マングローブ域	N11-17-090 (♂, cw 26.1 mm), N11-17-098 (♂, cw 23.7 mm)
		宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-088 (♂, cw 22.9 mm)
		宮古島, 嘉手苅入江	N11-17-065 (♂, cw 30.9 mm), N11-17-091 (ovi, ♀, cw 22.8 mm), N11-17-092 (♂, cw 26.2 mm), N11-17-214 (♂, cw 14.5 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-089 (♂, cw 26.9 mm)
ヒメシオマナネキ	<i>Gelasimus vocans</i> (Linnaeus, 1758)	宮古島, 島尻漁港干潟	N11-17-051 (♂, cw 23.3 mm), N11-17-110 (♀, cw 16.8 mm)
		宮古島, 島尻マングローブ域	N11-17-104 (♂, cw 18.0 mm)
		宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-105 (♂, cw 21.4 mm), N11-17-124 (♀, cw 13.8 mm)
		宮古島, 嘉手苅入江	N11-17-102 (♂, cw 19.1 mm), N11-17-103 (♂, cw 19.8 mm), N11-17-215 (♀, cw 15.2 mm), N11-17-216 (♂, cw 18.9 mm), N11-17-218 (♀, cw 19.6 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-109 (♂, cw 19.6 mm)
ベニシオマナネキ	<i>Paraleptuca crassipes</i> (White, 1847)	宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-048 (♂, cw 16.8 mm), N11-17-060 (♀, cw 15.4 mm)
		宮古島, 島尻マングローブ域	N11-17-099 (♂, cw 14.8 mm), N11-17-114 (♂, cw 14.9 mm)
		宮古島, 嘉手苅入江	N11-17-107 (♂, cw 16.2 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-108 (♂, cw 14.6 mm)
リュウキユウシオマナネキ	<i>Tubuca coarctata</i> (H. Milne Edwards, 1852)	宮古島, 島尻マングローブ域	N11-17-067 (♂, cw 25.5 mm)
		宮古島, 川満マングローブ域	N11-17-059 (♀, cw 21.3 mm), N11-17-058 (♂, cw 23.8 mm), N11-17-057 (♂, cw 15.8 mm), N11-17-080 (♂, cw 18.9 mm)
		入江水道マングローブ域 (伊良部島側)	N11-17-112 (♂, cw 22.7 mm)
ヤエヤマシオマナネキ	<i>Tubuca dussumieri</i> (H. Milne Edwards, 1852)	宮古島, 島尻マングローブ域	N11-17-056 (♀, cw 22.4 mm), N11-17-066 (♂, cw 28.1 mm), N11-17-106 (♀, cw 21.7 mm)
Ocypodinae			
ツノメガニ	<i>Ocypode ceratophthalmus</i> (Pallas, 1772)	渡口の浜 (伊良部島側)	RUMF-ZC-04545 (♂, cw 34.6 mm)
		多良間島, ト`ガリ`ラト`ブリ	N11-17-070 (♂, cw 37.6 mm)
ミナミスナガニ	<i>Ocypode cordimanus</i> Latreille, 1818	渡口の浜 (下地島側)	N11-17-180 (♂, cw 23.6 mm)
ナンヨウスナガニ	<i>Ocypode sinensis</i> Dai, Song & Yang, 1985	渡口の浜 (伊良部島側)	RUMF-ZC-04547 (♂, cw 32.1 mm)